

**大学コンソーシアム富山 地域課題解決事業  
令和2年度 地域課題提案書（新規・継続）**

自治体等名	富山県	担当者	所属 商業まちづくり課 氏名 林 瑛里菜 TEL 076-444-3253 E-mail erina.hayashi@pref.toyama.lg.jp
地域課題名	大学生による商店街課題解決	事業費	450千円
地域課題の背景	<p>中心市街地の空洞化の進行等により、地域の商店街では空き店舗の増加、施設の老朽化、後継者不足、賑わいの低下、顧客の減少等の課題が深刻な状況にある。</p> <p>各商店街においては、これまでも地域の特色を活かした賑わい創出・魅力向上の取り組みを実施しているものの、イベント等のマンネリ化や商店街活性化のアイデア不足等に陥っている。そこで、商店街と学生のマッチングの機会を創出することで、よそ者・若者の視点から新たな商店街活性化策を提案し、商店街の課題解決を図るもの。</p>		
課題の概要	<p>各高等教育機関の学生がゼミ単位などで取り組み、学生自らが主体的に地域の商店街が抱える課題に関して、現地調査や分析等を実施し、必要な対策を提案する。</p> <p>調査結果は、県の政策立案に活用するとともに、各大学で成果発表会を実施し、他の学生への啓発を行う。また、提案企画は、県等の事業を活用し、実現を目指す。</p> <p>〈採択の条件〉</p> <p>①大学生が主体的に取り組み、県政に反映することのできる調査内容であること</p> <p>②調査・検証の手法が具体的で実現可能性が高いこと</p>		
事業実施に当たっての協働体制	<p><b>【自治体等の役割】</b></p> <p>学生が調査やヒアリング等の現地活動を行う際に、市町村等と連携しながら、必要に応じ連絡調整を行う。成果発表会への出席の呼びかけのほか、必要に応じて調整等を行う。</p> <p><b>【高等教育機関の役割】</b></p> <p>学生の目線で商店街の課題について調査・分析等を実施し、必要な対策を提案する。結果について各大学で成果発表を行う。</p>		

成果の活用 方法	(1) 学生が県内商店街の現状を把握する中で、本県の商業・サービス産業への問題意識を醸成し、学生自身への意識づけとする。結果報告は、各大学で成果発表を実施し、他の学生への啓発効果を狙う。 (2) 学生が提案した企画は、学生と商店街・市町村等で協議し、県や市等の事業を活用し、学生や商店街等が事業実施主体となり、実現を目指す。
-------------	---

**【作成上の注意】**

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。  
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 提案課題に関する詳細資料(秘密事項は除く)がある場合は、添付願います。
- 3 提案課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 提案書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。